

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員が十分に安全確保が出来るよう常に整理整頓を行いスペースを取っている。 ・集団及び個別で使用出来、部屋が完備されており、活動に合わせ使い分けしている。 	
	②	職員の配置数は適切である	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な配置数にする為、休みの申請なども話し合いお互いに配慮している。 ・利用者人数に合わせ、職員間で配置数を決めて対応している。 ・利用者の数に合わせて、最低2名以上の職員で支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤で送迎できるスタッフが、もう一人ほしい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓を行うことや、スタッフ間での周知を行うことで、過ごしやすい生活空間となっている。 ・ドアプレートやスケジュール表等を設置する事で、利用者に分かりやすく見通しを持ちやすい空間を作ることが出来ている。 ・療育後は必ず清掃を行い、活動中でも清潔を保つ為、ゴミなどがあれば直ぐに支援の妨げにならないよう清掃を行う。 	
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本、玩具等の配置を徹底している。 ・療育後の清掃、気づいた時の整理整頓を常に行い空間を維持している。 ・視覚的な配慮を行いながらパーテーションを使用している。 	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度気付きを発信して迅速に対応している。 ・朝礼昼礼だけではなく、スタッフ間で情報共有を行い、職場環境向上に務めている。 	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを配布している。 ・評価表を確認し、謙虚な気持ちを忘れないよう利用者様優先に療育を行っている。 	
	⑦	事業所向け自己評価表および、保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・資質向上に向けた研修・会議を行っている。 ・研修に参加した人の報告を行っている。 ・月一回の事業推進会議や心理室会議に参加し、事業所内での話し合いを実施。 	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの間で、課題や支援方法話し合った後作成している。 ・利用者の発達、計画の更新に合わせてスタッフ間で情報共有を行い優先順位を考えて立案している。 ・保護者の方のアセスメントを行い、それに基づいて計画を立てている。又、家庭訪問や面談等も定期的に行っている。 	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月研修を行っている。 ・絵カードやスケジュール表を使用している。 	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズも踏まえ、スタッフ間で必要な支援内容を話し合い、支援に内容を検討している。 	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに沿って支援を行っている。 ・スタッフ一人一人が個々の目標を把握している。 ・記録に日程を記入して目標達成に向けた支援を行っている。 	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の課題や支援目標に合わせて職員会議を行い、活動内容を考えている。 ・主で当日のリーダーが決めるが、取り入れた方が良い活動等はチームで話し合っている。 	
	⑮	活動プログラムを固定化しないよう工夫している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動テーマに合わせて様々な内容を立案し療育を行っている。 ・日々のリーダーを変えながら取り組み内容を変更している。 ・文献等で調べている。 ・各担当が日々のねらいや目的を取り入れながら固定化しないよう工夫している。 	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目標に合わせて個別活動や小集団活動を取り入れて計画を行っている。 	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日必ず朝礼を行い、その日の活動内容や職員の動きの把握を行い、周知している。 ・朝礼を実施しチームワークを第一にコミュニケーションを取っている。 	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日終礼を必ず行い、1日の反省や気づきなどの話し合いを行っている。 ・終礼を実施しチームワークを第一にコミュニケーションを取っている。 ・毎日昼食時や空き時間等で、定期的に共有している。 ・終礼の際に、振り返りを行い、共有できるように心掛けている。 	
⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の支援目標に応じた活動の記録を支援記録として毎日必ず記入している。 ・ダブルチェックを行い、すべてのスタッフで共有している。 		

⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	<ul style="list-style-type: none">・療育に直接関わっている職員と管理者とで連携を図り、会議に参加している。モニタリングで支援目標をその都度見直し、達成できていれば次の課題へ、未達成であれば継続して目標を立てている。・毎月のモニタリングでは、スタッフ間で話し合って作成している。	
---	--	---	---	--	--

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・療育に直接携わっている職員と管理者とで連携を図り、会議に参加している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0	・保健士さんや相談支援委員さんと家庭訪問を実施する事がある。 ・担当者モニタリングの実施 ・必要に応じて家庭訪問や関係連携を取り支援を行っている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連絡体制を整えている。	5	1	・関係連携の実施。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えている	4	2		・スタッフ全員が把握できているわけではないのでリストなどを作成したい。
	㉔	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・園へ訪問、又は電話にて情報交換、情報共有を実施している。 ・情報提供書の実施。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・情報提供書の実施。	
	㉖	他の児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	・研修報告などで学んでいる。	
	㉗	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	・コロナ感染症の流行や感染拡大の視点から現時点でできていない。 ・送迎時のみ。	
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6	・コロナ感染症の流行や感染拡大の視点から現時点でできていない。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・送迎時にその日の活動の様子を詳しく分かりやすくお伝えしている。 ・連絡ノートや送迎時、家庭訪問等で取り入れている。 ・課題や状況について共通理解を促している。	
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	・家庭訪問を実施し、情報提供及び支援アドバイスを実施している。		

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・契約時に書類を用いて詳しくお伝えしている。	
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び、支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	㉒	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・定期的に面談や家庭訪問を行い、保護者からの相談や支援を行っている。	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	・コロナ感染症の流行や感染拡大の視点から現時点ではできていない。	
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・対応のマニュアルを作成しており、不明な場合管理者に速やかな報告を行う。 ・相談できる環境であるため信頼関係を築き申し入れがあった場合は迅速に適切に対応している。	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・毎月予約表やイベント案内を作成している。 ・就学特化のプリントも一緒に配布している。	
	㉖	個人情報に十分注意している	6	0	・支援記録やオレンジファイルの情報は、受け渡し間違いや流失しないよう細心の注意をはらっている。	
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・視覚支援を用いたり、分かりやすい言葉などに変えて対応を行っている。 ・常に相手の立場に立ち伝え方に配慮している。	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	・コロナ感染症の流行や感染拡大の視点から時点ではできていない。 ・ぐんぐん発表会の実施。	
非常時の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・緊急時を想定して訓練を定期的に行ったり、会議等で避難場所の確認を行っている。 ・毎年2回行い、役割も決めている。 ・研修等の際に、各事業所でも対応マニュアルを確認し、想定した流れや職員の役割を周知した上で訓練実施を行っている。	
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っている	6	0	・すぐ取り出せるようにセットを準備している。	
	㉛	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・症状のある方の情報について事前に調べて職員間で共有している。 ・マニュアルの用意、研修の実施 ・事前に保護者から情報を聞いて最善の注意を払っている。	
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	・契約時に確認し、食べ物を具体的に記入している。	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・必ずスタッフ間で読みあっている。 ・事例集を職員で周知し共有している。	

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止法マニュアルを用いて研修を行っている。 ・研修を受けて適切な対応が出来る様にしている。 	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に必ず保護者に説明を行い、契約書に記載している。 ・研修や事業所内で、決定事項を確認しあい周知している。 	